



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東大

上場会社名 丸大食品株式会社

コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 百済 徳男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 澤中 義和

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	158,684	1.9	6,586	△2.1	6,674	△0.9	5,530	0.2
23年3月期第3四半期	155,791	0.9	6,729	4.2	6,736	5.1	5,521	5.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,627百万円 (△3.9%) 23年3月期第3四半期 5,853百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	42.57	—
23年3月期第3四半期	41.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	130,674	69,291	51.8
23年3月期	117,104	64,710	54.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 67,693百万円 23年3月期 63,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	3.1	5,800	1.3	5,900	1.3	3,900	1.2	30.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	132,527,909 株	23年3月期	132,527,909 株
24年3月期3Q	2,620,354 株	23年3月期	2,619,191 株
24年3月期3Q	129,908,146 株	23年3月期3Q	132,270,081 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから夏場にかけて持ち直したものの、欧州債務問題の再燃、円高の進展などの影響により年末にかけて回復ペースは大きく鈍化し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

加工食品事業におきましては、原材料・燃料価格の高騰やお客様の節約志向の浸透により販売価格が下落するなど、依然として厳しい状況が続きました。また、食肉事業につきましても、牛肉相場がセシウム汚染問題により低迷するなか、豚肉・鶏肉相場も需給悪化から夏場以降下落に転じるなど、厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一」「コンプライアンスの徹底」「安全性と品質の追求」のもと、より安全で安心な食品の提供に努める一方、「多角化戦略の推進」「グループ経営の強化」「商品開発力の強化」の諸施策を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.9%増の1,586億84百万円となりましたが、営業利益は原材料・燃料価格の高騰や食肉販売の収益性悪化の影響などにより同2.1%減の65億86百万円、経常利益は同0.9%減の66億74百万円となりました。四半期純利益につきましては特別損失の減少などにより前年同期比0.2%増の55億30百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	114,758	117,764	3,006 (2.6%)	6,133	6,101	△31 (△0.5%)
食肉事業	40,719	40,622	△97 (△0.2%)	470	355	△115 (△24.6%)
その他	313	297	△15 (△5.1%)	125	129	4 (3.8%)
合計	155,791	158,684	2,893 (1.9%)	6,729	6,586	△142 (△2.1%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	69,737	71,960	2,223 (3.2%)
調理・加工食品	45,021	45,804	783 (1.7%)

①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、主力ブランドの「燻製屋熟成ウインナー」の売上拡大を図るとともに、肉食志向に対応した積極的なメニュー提案の実施などにより「いつも新鮮ロースハム」や「切落し生ハム」及び「いつも新鮮ベーコン」などの販売促進に努めました。また、歳暮ギフトにつき

ましても、中元ギフトに引き続き、主力ブランドである「王覇」「煌彩」シリーズを中心に売上を伸ばしました結果、当部門の売上高は、前年同期比3.2%の増収となりました。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」、「旨味工房カレー」などのレトルト食品の売上が堅調に推移しましたほか、平成23年10月に子会社化した(株)マルシンフーズの売上が寄与しました結果、当部門の売上高は、前年同期比1.7%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比2.6%増の1,177億64百万円となりました。営業利益は、生産・販売両部門でのコスト削減効果がありましたが、販売競争激化に加え原材料・燃料価格が前年に比べて高騰しましたことなどから前年同期比0.5%減の61億1百万円となりました。

②食肉事業

牛肉は、お客様の低価格志向により需要が伸び悩むなか、セシウム汚染の影響などにより牛肉相場が低迷しましたが、米国産牛肉の販売拡大に努めました結果、全体の売上高・数量は増加いたしました。豚肉につきましては、夏場以降、需給悪化から相場が下落し、売上高・数量とも低調に推移いたしました。以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比0.2%減の406億22百万円となりました。営業利益は、国産牛肉や豪州産牛肉販売の収益性の悪化などから前年同期比24.6%減の3億55百万円となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は前年同期比5.1%減の2億97百万円、営業利益は前年同期比3.8%増の1億29百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増 減
総 資 産	117,104	130,674	13,569
負 債	52,394	61,382	8,988
純 資 産	64,710	69,291	4,581
自 己 資 本 比 率	54.1 %	51.8 %	△ 2.3 %

当第3四半期連結会計期間における総資産は、現金及び預金が41億70百万円減少しましたが、年末商戦による季節要因により受取手形及び売掛金が146億32百万円増加したほか、固定資産が27億66百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて135億69百万円増加し、1,306億74百万円となりました。

負債は、季節要因により支払手形及び買掛金が55億45百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べて89億88百万円増加し、613億82百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当金10億39百万円の支払いがありましたが、四半期純利益55億30百万円の計上などにより前連結会計年度に比べて45億81百万円増加し、692億91百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べて2.3%減少し、51.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	2,775	2,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,703	△ 4,024	△ 2,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,866	△ 3,071	△ 204
現金及び現金同等物の期末残高	6,326	9,261	2,934

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加などによる減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加などから、27億75百万円増加(前年同期比24億89百万円増加)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出や、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などから、40億24百万円減少(前年同期比23億21百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金及びリース債務の返済による支出や配当金の支払いなどから、30億71百万円減少(前年同期比2億4百万円支出増加)しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ43億21百万円減少(前年同期比29億34百万円増加)し、92億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,619	9,448
受取手形及び売掛金	19,921	34,553
商品及び製品	6,085	6,720
仕掛品	654	485
原材料及び貯蔵品	7,857	7,484
繰延税金資産	1,895	2,057
その他	662	773
貸倒引当金	△61	△87
流動資産合計	50,633	61,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,509	47,404
減価償却累計額	△29,918	△31,234
建物及び構築物(純額)	15,591	16,170
機械装置及び運搬具	42,326	45,433
減価償却累計額	△33,682	△36,277
機械装置及び運搬具(純額)	8,643	9,156
工具、器具及び備品	5,148	5,153
減価償却累計額	△3,475	△3,537
工具、器具及び備品(純額)	1,672	1,616
リース資産	8,693	8,367
減価償却累計額	△3,448	△3,794
リース資産(純額)	5,245	4,573
土地	19,097	19,154
建設仮勘定	130	967
有形固定資産合計	50,381	51,638
無形固定資産		
投資その他の資産	826	2,014
投資有価証券	8,758	8,322
関係会社株式	—	130
長期貸付金	147	168
繰延税金資産	55	64
その他	6,656	7,322
貸倒引当金	△353	△423
投資その他の資産合計	15,264	15,584
固定資産合計	66,471	69,237
資産合計	117,104	130,674

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,178	23,723
短期借入金	4,533	6,752
1年内返済予定の長期借入金	7,950	7,031
未払法人税等	706	209
未払消費税等	381	464
リース債務	1,346	1,138
賞与引当金	1,101	379
その他	6,500	10,574
流動負債合計	40,698	50,274
固定負債		
長期借入金	5,153	4,686
繰延税金負債	1,541	1,472
退職給付引当金	548	849
リース債務	3,965	3,517
その他	486	583
固定負債合計	11,696	11,108
負債合計	52,394	61,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	34,277	38,768
自己株式	△697	△697
株主資本合計	61,982	66,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,505	1,330
繰延ヘッジ損益	0	△16
為替換算調整勘定	△92	△93
その他の包括利益累計額合計	1,414	1,220
少数株主持分	1,313	1,597
純資産合計	64,710	69,291
負債純資産合計	117,104	130,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	155,791	158,684
売上原価	113,429	116,602
売上総利益	42,362	42,082
販売費及び一般管理費	35,633	35,496
営業利益	6,729	6,586
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	116	125
不動産賃貸料	137	131
その他	291	282
営業外収益合計	566	560
営業外費用		
支払利息	367	299
その他	191	173
営業外費用合計	559	472
経常利益	6,736	6,674
特別利益		
固定資産処分益	244	67
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	244	87
特別損失		
固定資産処分損	171	173
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	279	1
減損損失	438	195
出資金評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	927	369
税金等調整前四半期純利益	6,053	6,391
法人税、住民税及び事業税	703	513
法人税等調整額	△523	56
法人税等合計	179	569
少数株主損益調整前四半期純利益	5,873	5,821
少数株主利益	352	291
四半期純利益	5,521	5,530

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,873	5,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△175
繰延ヘッジ損益	△12	△17
為替換算調整勘定	10	△1
その他の包括利益合計	△19	△194
四半期包括利益	5,853	5,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,501	5,336
少数株主に係る四半期包括利益	351	291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,053	6,391
減価償却費	4,567	4,455
貸倒引当金の増減額(△は減少)	93	69
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△576	△610
受取利息及び受取配当金	△138	△146
支払利息	367	299
固定資産処分損益(△は益)	△72	105
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	279	1
減損損失	438	195
売上債権の増減額(△は増加)	△13,517	△14,187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,207	△29
仕入債務の増減額(△は減少)	4,002	5,116
未払消費税等の増減額(△は減少)	42	73
その他	1,579	2,197
小計	911	3,931
利息及び配当金の受取額	235	268
利息の支払額	△304	△272
法人税等の支払額	△557	△1,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△22	△24
投資有価証券の売却による収入	1	—
固定資産の取得による支出	△2,095	△3,658
固定資産の売却による収入	652	317
関係会社株式の取得による支出	—	△130
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△473
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5
その他	△239	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,703	△4,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△117	2,231
長期借入れによる収入	4,003	500
長期借入金の返済による支出	△4,786	△3,763
リース債務の返済による支出	△1,033	△994
配当金の支払額	△925	△1,039
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,866	△3,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,289	△4,321
現金及び現金同等物の期首残高	10,615	13,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,326	9,261

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	114,758	40,719	155,477	313	155,791	—	155,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	693	693	△693	—
計	114,758	40,719	155,477	1,007	156,484	△693	155,791
セグメント利益	6,133	470	6,604	125	6,729	—	6,729

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失438百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第3四半期連結累計期間における計上額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	117,764	40,622	158,387	297	158,684	—	158,684
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	891	891	△891	—
計	117,764	40,622	158,387	1,188	159,576	△891	158,684
セグメント利益	6,101	355	6,456	129	6,586	—	6,586

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失195百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、当第3四半期連結累計期間における計上額であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「加工食品事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より新たに(株)マルシンフーズの株式を取得したことに伴い、のれんを無形固定資産に含めて計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては902百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、新たに取得した(有)紀の梅食品を連結の範囲に含めましたことや、連結子会社である(株)熊野路の株式を追加取得しましたことから、負ののれん発生益(特別利益)を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19百万円であります。

(その他の情報)

当社グループは、連結売上高の合計に占める国内の外部顧客への売上高の割合が90%を超えております。また、海外売上高は連結売上高の10%未満であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

記載すべき事項はありません。